

なくてはならないもの

シャルマ ソウラブ
SHARMA SAURABH

皆さんは、幼稚園の頃に習った詩を今でも覚えていますか？おそらく多くの方は覚えているのではないのでしょうか。それは、言葉だけのものより、詩のように音楽やリズムがあるものの方が、子供にとって覚えやすいからだと思います。私は音楽を好きになった理由は3つあります。

1つ目の理由は、私は音楽に救われたからです。私は小さい頃に両親を失い、お祖母さんと兄で三人暮らしの家庭でした。兄は立派な学生で、学校で優秀でした。一方で、私は勉強が苦手な小さな頃からお祖母さんと一緒に仕事へ行き、家事もさせられました。そんな毎日を送ってきた私は、誰にも心を打ち明けられず孤独な日々を過ごしてきました。その時に、日本の音楽が私に力を与えてくれたものです。例えば、Mrs. GREEN APPLEの「僕のこと」という曲を初めて聴いたときは、歌詞の意味は理解していなかったが、日本語をわかるようになってから改めて聴いたら、涙が出るほど感動しました。例えば、

「ああなんて素敵なひだ
幸せに悩める今日も
ボロボロになれている今日も
ああ息をしてもがいている」

今までの人生で、ボロボロになっても、息をしてもがいていた私は幼い頃から仕事し続けさせられたことを思い出すと、今の自分も、そんな日もなんて素敵な日だったと思えるようになりました。今も大変な日々には日本の音楽を聴いて頑張り続けています。

音楽が好きな2つ目の理由は、音楽は私の人生に次々と新しい扉を開いてくれたからです。日本に来れたことも、音楽のきっかけだと思います。日本の音楽を好きになったことがきっかけに、日本語に興味を持つようになりました。2019年の5月に日本の文部科学省の奨学金に応募しました。6か月間経ち、大使館から来た手紙を読んだときの涙が出てしまい、その時の喜びを言葉で表せないものです。

3つ目の理由は、音楽を通して親友を作ることができたからです。音楽を共有することで、お互いに親近感や信頼感が生まれると思います。来日する前に、インターネットでの交流会を通じて日本人の友達ことができました。その友達から日本語の曲を送ってもらったり、私が英語の曲を送ったりすることで、相互に好きな歌を送りあってきました。日本に来てからも、その友達に優しく助けてもらったのです。

以上の3つの理由で、今、日本の音楽は、私にとって「なくてはならないもの」になりました。私の毎日の生活において、音楽は、空気や水、食べ物と同じようにかけがえのない大切なものです。新型コロナウイルス世の中で大変な日々が続いている中で、音楽が人々を励まし続けているのです。皆さんにも日本の音楽の魅力を感じてもらえればと思います。